

まちづくり交付金 フォローアップ報告書

やまむろ
山室地区

平成27年 7 月

富山県富山市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	区域整理地内の新規住宅累積着工件数	棟	185	278	383	確定 見込み ○	○	あり なし	383	H27年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路網整備や歩行者空間整備により、旧市街地との往来や内外からのアクセス性や安全性・快適性の向上したこと、また商業施設の出店が進んだことで、地区の利便性が向上し、新規住宅着工が促進された。
指標2	地区内人口	人	9,598	9,598	9,778	確定 見込み ○	○	あり なし	9,894	H27年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	区画整理事業による良好な生活環境整備によって、人口流出を抑制し、地区人口は従前値と比べて増加した。
指標3	交流施設の利用者数	人/年	20,198	20,298	20,520	確定 見込み ○	○	あり なし	19,967	H27年3月	△	冬季に実施された恒例行事が天候不良であったため。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	最終年度は天候不良による減少がみられたが、それ以前については、各世代を対象としたイベント等の充実により交流が盛んに行なわれたことで、利用者が増加した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	推進協議会との連携	「山室校下ふるさとづくり推進協議会」等と協働し、ふれあい文化祭や芸能音楽祭等の多様なイベント活動を開催した。	地域のまちづくり活動や地域コミュニティが活性化された。	今後も地域住民や団体が主体となった、継続的なまちづくり活動の実施が必要である。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	地区内居住区的环境整備	不二越町秋吉線の整備等の道路整備を行った。	生活道路としての機能が向上した。	地区内に残存している狭隘(きょうあい)道路や行き止まり道路を早期に解消し、生活道路の機能性を高める。
	未利用地・空き家の有効活用	実施していない。	-	空き家の有効活用が促進される事業が課題である。
	交通安全を中心とした、安心・安全なまちづくり	公安へ信号機設置要望の依頼や、地区内での防犯パトロールを実施した。	多くの住民がパトロールに参加したことで、地区内の防犯意識が高まった。	今後もこれらの取り組みを強化する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項